

【2023 年 2 月実施】日本の市民社会に関する意識調査（自助共助）

- 調査時期：2023 年 2 月 17 日から 24 日
- 調査方法：楽天インサイトの登録パネルを利用した WEB 調査
- 調査対象：性別・年齢(10 歳刻み)・地域ブロックで割付した 2918 名（有効回答）

日本の市民社会に関する意識調査

- この調査は、特定の政治勢力を支援するためのアンケート調査ではありません。また、あなたがこの調査に協力することによって、不利益を被ることもありません。安心してご回答ください。
- このアンケート調査は、営利目的ではない、学術研究を目的とする調査です。
- 政治や行政についての質問には、答えづらいものもあります。もし回答を不快に感じられた場合、あなたはいつでも回答をやめることができます。また、あなた自身の信条にもとづいて答えたくないと思う質問については、ご遠慮なく「答えたくない」を選択していただいても結構です。
- 得られた回答はすべて統計的に処理し、回答者の属性などがわからないようにします。個人の情報が特定されることはありませんので、安心してご回答ください。
- お送りいただいた情報は調査機関から個人が特定できないかたちで調査代表者に送付されますので、調査代表者が研究を進めるあいだに個人情報に他にもれる可能性はありません。
- アンケート調査の分析結果については、新聞や調査代表者の HP などを通じて一般の人に対しても発信する可能性があります。
- 本心とは異なるような不適切な回答を行うことは、調査結果の質を低下させてしまいます。すべての質問に対して、率直にご回答くださるよう、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。
- 本調査は、関西大学「人を対象とする研究倫理審査運営委員会」（承認番号：HR 承認 2021-8）の承認を受けた上で実施しています。
- 本調査は、関西大学経済・政治研究所「自助・共助研究班」(<https://www.kansai-u.ac.jp/Keiseiken/research/>)の研究の一環で実施するものです。

以上についてご理解頂けた方は「同意する」をチェックして次に進んでください。

* 同意する (1)

sex : 1:男性, 2:女性

age : 年齢そのまま

pref : 都道府県コード (コードは WEB で確認可能)

Q2.1 あなたの最終学歴（在籍中の場合を含む）を教えてください。

- * 小学校・中学校 (1)
- * 高等学校 (2)
- * 高専・専門学校・短期大学 (3)
- * 大学 (4)
- * 大学院 (5)
- * 答えたくない (99)

Q2.2 あなたの職業は、次のうち、どれに該当しますか。もっとも当てはまるものを1つお選びください。

- * 会社員（正社員） (1)
- * 公務員 (2)
- * 団体職員 (3)
- * 会社経営者・役員 (4)
- * 契約社員・派遣社員・嘱託職員 (5)
- * パート・アルバイト (6)
- * 自営業主・家族従業員 (7)
- * 専業主婦（夫） (8)
- * 学生 (9)
- * 無職（年金生活者を含む） (10)
- * その他 (11)
- * 答えたくない (99)

Q2.3 あなたご自身を含むご世帯の昨年（2022 年 1月～12月）の収入はおいくらくらいでしたでしょうか。おおよそで結構ですのでお答えください。

- * 100 万円未満 (1)
- * 100~200 万円未満 (2)
- * 200~300 万円未満 (3)
- * 300~400 万円未満 (4)

- * 400~500 万円未満 (5)
- * 500~600 万円未満 (6)
- * 600~700 万円未満 (7)
- * 700~800 万円未満 (8)
- * 800~900 万円未満 (9)
- * 900~1000 万円未満 (10)
- * 1000~1500 万円未満 (11)
- * 1500~2000 万円未満 (12)
- * 2000 万円以上 (13)
- * 答えたくない (99)

Q2.4 現在、お子様はいらっしゃいますか。お子様の年齢区分ごとに教えて下さい。

- 未就学児（およそ 0 歳～6 歳） (F4_1)
- 小学生（およそ 6～12 歳） (F4_2)
- 中学生（およそ 12～15 歳） (F4_3)
- 高校生または高校生に相当する年度（およそ 15～18 歳） (F4_4)
- 18 歳以上 (F4_5)

- * いない (0)
- * 1 人 (1)
- * 2 人 (2)
- * 3 人 (3)
- * 4 人 (4)
- * 5 人以上 (5)
- * 答えたくない (99)

Q2.5

あなたの居住地域を以下の中から 1 つお選びください。

※ 政令市とは、札幌市、仙台市、千葉市、さいたま市、横浜市、川崎市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市を指します。

- * 東京 23 区または政令市 (1)
- * 県庁所在市（東京 23 区または政令市を除く） (2)
- * その他の市 (3)
- * 町村 (4)
- * 答えたくない (99)

Q3.1 以下にあげるようなことをした経験がありますか。それぞれについて、当てはまる項目を 1 つお選びください。

- 選挙運動を手伝う (Q3.1_1)
 - 役所に相談する (Q3.1_2)
 - 請願書に署名する (Q3.1_3)
 - デモや集会に参加する (Q3.1_4)
 - インターネット上で政治的な意見やコメントを書く (Q3.1_5)
 - 労働組合のイベントに参加する (Q3.1_6)
 - 自治会・町内会の役員になる (Q3.1_7)
 - ボランティアをする (Q3.1_8)
 - 1 万円以上の寄付をする (Q3.1_9)
 - 環境にやさしい商品、寄付つき商品、フェアトレード商品のいずれかを購入する (Q3.1_10)
 - 特定の音楽家・芸術家・芸能人・スポーツ選手などを応援する目的で商品やサービスを購入する (Q3.1_11)
 - 特定の企業・団体や地域を応援する目的で商品やサービスを購入する（旅行などによる現地消費を含む） (Q3.1_12)
 - 特定の企業・団体や地域に抗議する目的で商品やサービスの購入をボイコットする (Q3.1_13)
-
- * 3 度以上ある (1)
 - * 1～2 度ある (2)
 - * 1 度もない (3)
 - * わからない (88)
 - * 答えたくない (99)

Q3.2 あなたは 2022 年の 1 年間に以下に示すような金銭による寄付を行いましたか。当てはまるものをすべてお選びください。

- ふるさと納税制度による自治体への寄付 (Q3.2_1)
- 国や自治体への寄付（ふるさと納税制度による寄付を除く） (Q3.2_2)
- 政党や政治団体への寄付 (Q3.2_3)
- 宗教団体への寄付 (Q3.2_4)
- 学校・教育機関への寄付 (Q3.2_5)
- ウクライナ侵攻に関連した人道支援活動への寄付 (Q3.2_6)
- 上記以外の様々な社会活動や慈善活動への寄付 (Q3.2_7)
- どの寄付も行っていない (Q3.2_8)
- 答えたくない (Q3.2_9)

Q3.3

2022 年の 1 年間にふるさと納税を行った方のみにおたずねします。

ふるさと納税を行った際に対象自治体から返礼品を受け取りましたか。以下の中から当てはまるものを 1 つお選びください。なお、ふるさと納税を行った対象自治体が返礼品を設定していない場合や自分の住んでいる自治体にふるさと納税をした場合は「受け取らなかった」とみなしてください。

- * ふるさと納税を行ったすべての対象自治体から返礼品を受け取った (1)
- * 一部の対象自治体からは返礼品を受け取ったが、受け取らない自治体もあった (2)
- * 返礼品はすべて受け取らなかった (3)
- * わからない (88)
- * 答えたくない (99)

Q4.1

選挙のあるなしにかかわらず、あなたはふだんの政党を支持していますか。

次の中から 1 つだけお選びください。選択肢の中に支持する政党がない場合は「その他の政党」を選んだ上で、支持している政党名をご記入ください。

- * 自民党 (1)
- * 立憲民主党 (2)

- * 公明党 (3)
- * 共産党 (4)
- * 日本維新の会 (5)
- * 国民民主党 (6)
- * 社民党 (7)
- * れいわ新選組 (8)
- * 参政党 (9)
- * NHK党 (10)
- * その他の政党（具体的な政党名をご記入ください） (11)
- * 支持する政党はない (12)
- * わからない (88)
- * 答えたくない (99)

Q4.2

ところで、ある政治的な立ち位置を示す表現として、よく「保守（右派）」的とか「革新（左派）」的とかいう言葉が使われています。あなた自身や、以下の政党の政治的な立場について、以下のうちどれに当てはまると思いますか。

0～10の数字は5を中間に、左によるほど革新（左派）的、右によるほど保守（右派）的という意味です。該当しない・わからない・答えたくないような場合は、「なし」をチェックしてください。

- * あなた自身 (Q4.2_1)
- * 自民党 (Q4.2_2)
- * 立憲民主党 (Q4.2_3)
- * 日本維新の会 (Q4.2_4)
- * 共産党 (Q4.2_5)
- * 公明党 (Q4.2_6)
- * 国民民主党 (Q4.2_7)
- * 参政党 (Q4.2_8)

Q4.3 有権者と政治の関わりについておうかがいします。以下の意見について、あなたのお考えにもっとも近いものをそれぞれ1つお選びください。

- 政治や政府は複雑なので、自分には何をやっているのかよく理解できない (Q4.3_1)
- 自分のような普通の市民には、政府のすることに対して、それを左右する力はない (Q4.3_2)
- 国会議員は、大ざっぱに言って、当選したらすぐ国民のことを考えなくなる (Q4.3_3)
- 政治家は私たちのことを考えていない (Q4.3_4)
- 私は政治的なことにはできればかかわりたくない (Q4.3_5)
- 自分以外の多くの人は政治的なことにはできればかかわりたくないと思っている (Q4.3_6)
- 私は普段から政治のニュースに積極的に接している (Q4.3_7)
- 選挙のあるなしに関係なく、いつも政治のできごとに注意を払っている (Q4.3_8)
- ここは「あまりそう思わない」お選びください (Q4.3_9)

- * そう思う (1)
- * ややそう思う (2)
- * どちらともいえない (3)
- * あまりそう思わない (4)
- * そう思わない (5)
- * わからない (88)
- * 答えたくない (99)

Q4.4

以下に示す政党に対して、温度にたとえてお答えください。

もし好意も反感もない場合は 50 度としてください。もし好意的な気持ちがあれば、その強さに応じて 50 度から 100 度の数字を入力してください。逆に、反感を感じていれば、やはりその強さに応じて 0 度から 50 度までの数字を入力してください。

もし該当しない・わからない・答えたくないような場合は、「なし」にマークしてください。

- * 自民党 (Q4.4_1)
- * 立憲民主党 (Q4.4_2)
- * 共産党 (Q4.4_3)
- * 日本維新の会 (Q4.4_4)
- * 国民民主党 (Q4.4_5)
- * 公明党 (Q4.4_6)

* 参政党 (Q4.4_7)

Q4.5

では、以下に示すような政党や団体の場合はどうでしょうか。

先ほどと同じように、0～100 度の温度にたとえてお答えください。

もし該当しない・わからない・答えたくないような場合は、「なし」にマークしてください。

* 弱者やマイノリティを助ける市民団体 (Q4.4_8)

* 日本の伝統を守る市民団体 (Q4.4_9)

* 国際的な交流や人道支援を行う市民団体 (Q4.4_10)

* 「保守政党」 (Q4.4_11)

* 「革新政党」 (Q4.4_12)

* 「改革政党」 (Q4.4_13)

* 「リベラル政党」 (Q4.4_14)

Q4.6 あなたは以下の組織・団体や人々をどのくらい信頼していますか。あなたのお気持ちにもっとも近いと思うものをそれぞれお選びください。

- 国の行政 (Q4.6_1)
- 地方の行政 (Q4.6_2)
- 株式会社 (Q4.6_3)
- NPO・NGO などの市民活動団体 (Q4.6_4)
- 労働組合 (Q4.6_5)
- 農協や生協などの協同組合 (Q4.6_6)
- 自治会・町内会などの地縁組織 (Q4.6_7)
- 寺院や神社などの宗教組織 (Q4.6_8)
- 家族・親族 (Q4.6_9)
- 職場以外の知人や友人 (Q4.6_10)
- 職場の上司や同僚 (Q4.6_11)

* まったく信頼していない (1)

* 信頼していない (2)

* あまり信頼していない (3)

- * ある程度信頼している (4)
- * 信頼している (5)
- * 非常に信頼している (6)
- * わからない (88)
- * 答えたくない (99)

Q4.7 以下に示すような対人援助のあり方について、あなた自身はどのようにお考えでしょうか。あなた自身のお考えにもっとも近いと思うものをそれぞれお選びください。

- 勤め先の会社が倒産して失業した労働者の生活を NPO が寄付を集めて援助する (Q4.7_1)
- 大学に進学したいがお金が足りない高校生の学費を NPO が寄付を集めて援助する (Q4.7_2)
- 孤独感から薬物依存になってしまった人の社会復帰を NPO が寄付を集めて援助する (Q4.7_3)
- 勤め先の会社が倒産して失業した労働者の生活を行政が税金を使って援助する (Q4.7_4)
- 大学に進学したいがお金が足りない高校生の学費を行政が税金を使って援助する (Q4.7_5)
- 孤独感から薬物依存になってしまった人の社会復帰を行政が税金を使って援助する (Q4.7_6)
- ここは「良いことではない」をお選びください (Q4.7_7)

- * まったく良いことではない (1)
- * 良いことではない (2)
- * あまり良いことではない (3)
- * ある程度良いことである (4)
- * 良いことである (5)
- * 非常に良いことである (6)
- * わからない (88)
- * 答えたくない (99)

Q4.8

以下の意見それぞれについて、あなたのお考えはどの程度当てはまりますか。

「そう思う」から「そう思わない」の中から、あなたのお考えにもっとも近いと思うものをお選びください。

もし該当しない・わからない・答えたくないような場合は、「なし」にマークしてください。

- ほとんどの人は基本的に正直である (Q4.8_1)
- 私は人を信頼するほうだ (Q4.8_2)
- ほとんどの人は基本的に善良で親切だ (Q4.8_3)
- ほとんどの人は他人を信頼している (Q4.8_4)
- ほとんどの人は信用できる (Q4.8_5)

* そう思わない(1) - どちらともいえない(4) - そう思う(7) / なし

Q4.9

人が生きていく中では、さまざまな困難なできごとや解決が難しい問題が生じます。そうした困りごとを解消していく時に、次にあげる組織・団体や人々はどのくらい頼りになりますか。それぞれについて、あなたのお考えにもっとも近いと思うものを1つお選びください。

- 国の行政 (Q4.9_1)
- 地方の行政 (Q4.9_2)
- 株式会社 (Q4.9_3)
- NPO・NGOなどの市民活動団体 (Q4.9_4)
- 労働組合 (Q4.9_5)
- 農協や生協などの協同組合 (Q4.9_6)
- 自治会・町内会などの地縁組織 (Q4.9_7)
- 寺院や神社などの宗教組織 (Q4.9_8)
- 家族・親族 (Q4.9_9)
- 職場以外の知人や友人 (Q4.9_10)
- 職場の上司や同僚 (Q4.9_11)

* まったく頼りにならない (1)

* 頼りにならない (2)

* あまり頼りにならない (3)

- * ある程度頼りになる (4)
- * 頼りになる (5)
- * 非常に頼りになる (6)
- * わからない (88)
- * 答えたくない (99)

Q4.10 以下に示すような対人援助のあり方について、自分以外の世間の人々はどのように考えていると思いますか。もっとも当てはまると思うものをそれぞれお選びください。

- 勤め先の会社が倒産して失業した労働者の生活を NPO が寄付を集めて援助する (Q4.10_1)
- 大学に進学したいがお金が足りない高校生の学費を NPO が寄付を集めて援助する (Q4.10_2)
- 孤独感から薬物依存になってしまった人の社会復帰を NPO が寄付を集めて援助する (Q4.10_3)
- 勤め先の会社が倒産して失業した労働者の生活を行政が税金を使って援助する (Q4.10_4)
- 大学に進学したいがお金が足りない高校生の学費を行政が税金を使って援助する (Q4.10_5)
- 孤独感から薬物依存になってしまった人の社会復帰を行政が税金を使って援助する (Q4.10_6)

- * まったく良いことではない、と考えている (1)
- * 良いことではない、と考えている (2)
- * あまり良いことではない、と考えている (3)
- * ある程度良いことである、と考えている (4)
- * 良いことである、と考えている (5)
- * 非常に良いことである、と考えている (6)
- * わからない (88)
- * 答えたくない (99)

Q4.11 以下に日本や日本人についてのさまざまな意見が示されています。これらの意見について、あなたはどのくらい同意できますか。それぞれについて、あなたのお考えにもっと

も近いと思うものをお選びください。

- 日本人であることに誇りを感じる (Q4.11_1)
- 日本で生まれ育ったことを幸せに思う (Q4.11_2)
- 日本人のスポーツ選手が活躍するとうれしい (Q4.11_3)
- 日の丸や君が代は大切なものである (Q4.11_4)
- 他国に比べて日本はより良い国だ (Q4.11_5)
- 他国の人々と比べて日本人はより優れている (Q4.11_6)
- 他国と比べて日本の伝統や文化はより素晴らしいものである (Q4.11_7)
- 天皇や皇室に対して愛着を感じる (Q4.11_8)
- 日本に住む外国人がこれ以上増えないで欲しい (Q4.11_9)

- * まったくそう思わない (1)
- * そう思わない (2)
- * あまりそう思わない (3)
- * ある程度そう思う (4)
- * そう思う (5)
- * 非常にそう思う (6)
- * わからない (88)
- * 答えたくない (99)

Q5.1 昨年の出生数（新たに生まれた子供の数）は、統計開始以来、初めて 80 万人を割り込む可能性が大きくなったことがニュースなどでも報じられています。こうした状況を受けて、岸田政権は「異次元の少子化対策」と掲げました。

以下に示すのは、現在、政府が進めている少子化対策の概要です。それぞれの政策について、あなたは、どの程度、女性が子供を生みたいと思う気持ちを高める効果があるとお感じになりますか。あてはまる選択肢を 1 つずつお選びください。

- 児童手当の所得制限の撤廃 (Q5.1_1)
- 児童手当の支給年齢を 15 歳から 18 歳に引き上げ (Q5.1_2)
- 幼児教育や保育サービスの整備強化 (Q5.1_3)
- 産後ケアや一時預かりなどの子育て世帯のサービス拡充 (Q5.1_4)

- 出産後女性の職場復帰の促進 (Q5.1_5)
- パート等での「103 万／130 万の壁」の是正 (Q5.1_6)
- 男性の育児休暇（産後パパ育休）の取得促進 (Q5.1_7)
- 男性の長時間労働の是正 (Q5.1_8)
- 若い人々の賃金の引き上げ (Q5.1_9)

Q5.2 以下に示すのは、現在、政府が進めている少子化対策の概要です。

それぞれの政策について、あなたは、どの程度、若い世帯が子供を生みたいと思う気持ちを高める効果があるとお感じになりますか。あてはまる選択肢を 1 つずつお選びください。

- 児童手当の所得制限の撤廃 (Q5.2_1)
- 児童手当の支給年齢を 15 歳から 18 歳に引き上げ (Q5.2_2)
- 幼児教育や保育サービスの整備強化 (Q5.2_3)
- 産後ケアや一時預かりなどの子育て世帯のサービス拡充 (Q5.2_4)
- 出産後女性の職場復帰の促進 (Q5.2_5)
- パート等での「103 万／130 万の壁」の是正 (Q5.2_6)
- 男性の育児休暇（産後パパ育休）の取得促進 (Q5.2_7)
- 男性の長時間労働の是正 (Q5.2_8)
- 若い人々の賃金の引き上げ (Q5.2_9)

Q5.3 それぞれの政策について、あなたは、どの程度、現在の日本の少子化を改善する効果があるとお感じになりますか。あてはまる選択肢を 1 つずつお選びください。

- 児童手当の所得制限の撤廃 (Q5.3_1)
- 児童手当の支給年齢を 15 歳から 18 歳に引き上げ (Q5.3_2)
- 幼児教育や保育サービスの整備強化 (Q5.3_3)
- 産後ケアや一時預かりなどの子育て世帯のサービス拡充 (Q5.3_4)
- 出産後女性の職場復帰の促進 (Q5.3_5)
- パート等での「103 万／130 万の壁」の是正 (Q5.3_6)
- 男性の育児休暇（産後パパ育休）の取得促進 (Q5.3_7)
- 男性の長時間労働の是正 (Q5.3_8)
- 若い人々の賃金の引き上げ (Q5.3_9)

- * 非常に効果的だ (1)
- * ある程度効果的だ (2)
- * どちらともいえない (3)
- * あまり効果的ではない (4)
- * 全く効果的ではない (5)
- * わからない (6)
- * 答えたくない (7)

Q9.1

以上でアンケートはすべて終了になります。

長時間にわたってご協力いただきありがとうございました。

なお、回答者の皆様にお伝えすべき事項が2点ございます。

途中の質問では、岸田政権の少子化対策の内容をどのようにお考えになるかをお尋ねしました。この質問では、「女性が子供を生みたいという気持ちを高める効果」「若い世帯が子供を生みたい気持ちを高める効果」「日本全体の少子化対策としての効果」の3つの種類から、ランダムに1つの内容をお尋ねしました。

最後になりますが、本調査は、あくまで学術的な目的にもとづいて実施しております。

以上のことを事前にお伝えしますと、皆さまの回答に影響することが予想されましたので、調査の最後にお知らせさせていただきました。

上記の内容についてご理解いただけましたら下記の「確認した」を選択の上、下の矢印ボタンをおして調査を終了してください。

確認した (1)